

28年7月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年7月1日～ 28年7月10日

2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
7月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/7月	8月	9月
仕入 動向	国産材製材品	25.0	△ 8.3	16.7
	外材製材品	25.0	0.0	8.3
	構造用集成材	50.0	20.0	20.0
消費 動向	国産材製材品	33.3	16.7	16.7
	外材製材品	50.0	33.3	16.7
	構造用集成材	50.0	20.0	30.0
在庫 動向	国産材製材品	0.0	△ 8.3	0.0
	外材製材品	8.3	△ 8.3	0.0
	構造用集成材	30.0	10.0	0.0

・プレカット部材の仕入れは、8月に一部やや減少ないし横ばいがあるものの、総じて3ヵ月連続して増加。

・プレカット部材の消費は3ヵ月連続して増加。

・プレカット部材の在庫は、国産材及び外材は総じて7月の横ばいないしやや増加が、8月はやや減少し、9月は横ばい。構造用集成材は7月、8月の増加が、9月は横ばい。

(2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	28/7月	8月	9月
受注	33.3	16.7	8.3
加工	33.3	25.0	△ 10.0
受注残	25.0	△ 8.3	0.0

・プレカット工場の受注は3ヵ月連続して増加。

・加工は7月、8月の増加が、9月は減少。
・受注残は7月の増加が、8月は減少し、9月は横ばい。

モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

・合板の仕入れにタイト感。
・調整しながら手配。消費やや多め。在庫は全般的に多め、適正在庫に調整中。
・外材製材品の在庫調整の目途がそろそろつきそう。翌々月からは通常量を仕入れ出来そう。新規受注物件により、外材製材品の消費が増。構造用集成材はコンテナ仕入れが多いため、仕入れにムラを作った影響あり。現地の夏休みの影響もありで外材在庫はやや減少。

(受注動向)

・先月に続き順調な受注。
・受注・加工増加するも旧盆に向け勢い続かず。
・受注量は余り良くない。それが加工量とのバランスにどう影響するか心配。